

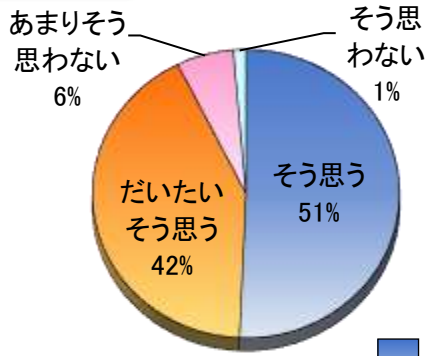
【学校評価委員の評価】 最終評価

2月6日(土) 学校評価委員会を開催しました。学校評価アンケートや自己評価の結果を参考に、6名の評価委員で、教育活動の成果と課題を整理し、次年度へ向けた改善の視点等を協議しました。

総合では肯定的評価が93%でした。この一年を通して保護者との信頼関係が深まり、子供たちは安全・安心な学校生活を楽しく過ごしていると、高く評価していただきました。観点別では「信頼される教育」「確かな学力」「輝く未来」がほぼ100%である一方、「豊かな心」87%、「健やかな体」76%と、コロナ禍においてこそ、新たな視点で創造的な取り組みが必要であるとご意見をいただきました。詳しくは↓

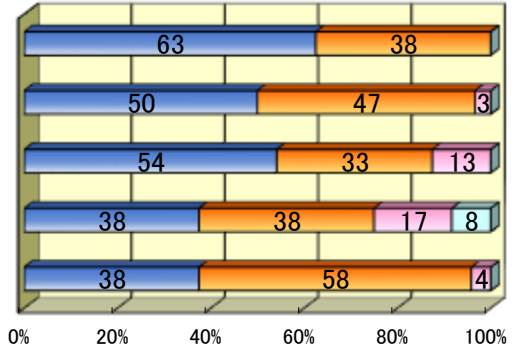
<http://www.city.akishima.ed.jp/~fujimi/1rinen/1rinnr9gakkouhyouka/1rinen9gakkouhyouka.htm>

総合評価



観点別

信頼される教育
 確かな学力
 豊かな心
 健やかな体
 輝く未来



評価項目別

観点	No.	評価項目	評価委員からのご意見等	評価	0%	20%	40%	60%	80%	100%
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	学校運営の面はよく分かりませんが、ブレのない学校経営方針を明確に示しており、先生方がまとまって取り組んでおり、前向きな姿勢に感謝いたします。	A	67					33
	2	安全管理 危機管理	学校に対して、とても信頼しています。安心、安全、命が守られていると感じています。子供たちの命を最優先に考えていることがよく伝わります。	A	83					17
	3	学校公開 情報発信	ICT化に尽力され、学校ブログの毎日の発信や情報伝達の速さに驚いています。感染防止をした上で、色々な工夫をして学校公開の機会を設けていることにも感謝します。	A	83					17
	4	カリキュラム マネジメント	正直、内容がよく分かりませんが、これからの時代を生きる子供たちにとって必要不可欠な力を育むカリキュラムを組んでいただきたいと思ひます。	B	17					83
	5	学校・家庭・地域の連携協働	コロナ禍で、実質的な協働は難しかったのではないのでしょうか。学校便りやホームページ等での情報発信、学校公開等、多様な情報を得るチャンスは多くありました。	B	67					33
	6	共にある教育の実現	休校中のアンケート等、年間を通して保護者の意見に耳を傾け、学校改善に反映する動きも見え、保護者の教育参画は、子供たちにとっても良い影響を与えていると感じます。	A	67					33
	7	働き方改革の徹底	全国的に働き方改革が叫ばれているが、「働かない」ことがよいこと勘違いされないよう、働き方改革の本質を見抜いて、子供たちのために専念していただきたい。	B	50					50
	8	ワンチームでビジョンを共有	よく考えると、富士見小は、特別支援教育の中核校として、市内でも屈指の教育ができる学校ではないかと思ひます。教育資源を有効に生かしていただきたい。	B	67					33
確かな学力の定着	9	基礎的基本的な学習の定着	コロナで2ヶ月も休校になった分、学力を向上させるのは、困難であったのではないのでしょうか。ただ、学校全体が落ち着いており、授業の雰囲気がとても良いので、安心です。	A	50					50
	10	学びに向かう姿勢の向上	子供の意見をとても尊重しており、対話により広がる探究心が豊かな創造力を育て学びの楽しさにつながっている。深く考え、話し合う努力のいる行為を大切にしたい。	A	50					50
	11	学習習慣・学習規律の定着	家庭学習を充実させることは難しいことと思ひます。個に応じた指導は、短時間では難しく、一人一人の指導時間を確保するしかないのではないのでしょうか。	B	17					83
	12	外部人材 ICT活用	今年は、大型TV設置、タブレット活用、プログラミング教育、オンライン配信等々、目まぐるしく変化していき、ちょっと追いつかない気もしますが、素晴らしいことと思ひます。	B	67					17
	13	ユニバーサルデザイン	今年は、すべての子供にやさしく分かりやすい授業をかかげ、言葉通りに授業の工夫がなされていると感じます。とくにICTの活用はやはり効果的だと思ひます。	A	67					33
豊かな心の醸成	14	社会性の向上	個性的な子供さんが多い中、先生方が気配り、目配りに尽力されており、落ち着いた学校生活につながっているのだと思ひます。スキルを学ぶことの大切さも感じました。	C	50					33
	15	自己有用感の醸成	先生が子供を信頼し、子供が先生を信頼しているので、自己有用感が高まり、子供同士も思いやりのある接し方ができるようになったのだと大変嬉しく思ひます。	B	67					17
	16	心の居場所づくり	コロナ禍で先生方が心身ともに疲れ切っておられるのではないかと心配しておりますが、それほど子供たちや保護者にまで細やかに暖かく、一人一人対応して下さいます。	A	50					50
	17	特別支援教育の推進	子供たちの言葉遣いが荒いことが時々気になります。まずは丁寧な言葉遣いから、互いを尊重する機運が高まると考えます。	C	50					33
健やかな育成	18	基本的な生活食習慣の定着	感染防止のため、食の指導はご苦労なさっていると思ひますが、配膳や身だしなみ、黙食など徹底して、子供たちの食の安全に対する意識が向上したと思ひます。	C	17					50
	19	体力・運動能力の向上	運動は、コロナ禍でもいろいろ工夫できると思ひます。休み時間も子供たちがもつと外に出て遊んでいる姿を見たいです。	B	33					67
	20	オリ・パラ教育の推進	このような状況の中で、正直、オリンピックどころではないかと思ひます。しかし、なかったことにするもどうかと思ひますので、何らかの方策が必要かと。	D	17					17
	21	健康管理 保健衛生	感染症対策を中心に、学校の安全管理、健康管理は徹底していると感じます。そのせいか、今年は欠席も少ないと聞いており、みんな元気に登校していることが何よりです。	A	83					17
輝く未来	22	課題解決・探究的な学びの充実	総合的な学習の時間を「コロナと共に生きる」という大きなテーマを掲げ取り組んでいると聞きましたが、良いとは思いつつ内容があまりわかりません。これからに期待します。	C	83					17
	23	主体的対話的で深い学びの推進	ソーシャルディスタンスが、感染防止の物理的距離の確保の意味から、他者を社会的に隔離したり排除したりするようなことにならないように、対話の重視を継続してほしい。	A	33					67
	24	地域の学校としての役割遂行	まさにこれからの未来に向け、大切な視点だと思ひます。そのためにも、まずは足元から。子供たちの同士の関係性の構築からではないのでしょうか。	B	67					33
	25	未来を創造する学校図書館	今年度は、図書室が普通教室になってしまったので、苦労したと思ひます。それでも子供たちは本に親しんでいたようなので、来年度からはしっかり活用できればと思ひます。	B	50					50

※ グラフの数値%は、四捨五入しているため、100%にならないことがあります。